

古文ドリル：「な」の識別 100問

対象：高校生・大学受験生（共通テスト～難関私大・国公立二次まで） 著作権：個別指導塾フィット / 中本裕太

はじめに：「な」の正体（4用法）

古文の「な」は、①文末に「そ」があるか ②直前の活用形 ③後ろに語が続くかを見れば見分けられます。同じ一文字に4つの用法が詰まっているので、手順で機械的に判定しましょう。

用法	接続・位置	訳	例
① 禁止の終助詞	終止形+な（ラ変は連体形）・文末	～するな	行くな
② 詠嘆の終助詞	終止形・連体形・体言など+な・文末	～だなあ	来にけり な
③ 完了「ぬ」の未然形	連用形 +な+（む・まし・ば・で・じ）	～してしまう（だろう）	散りなむ
④ 「な～そ」の副詞	な+連用形+そ（カ変・サ変は未然形）	～するな（禁止）	な笑ひそ

識別の鉄則（この順でチェック）

1. 文末付近に「そ」があるか → あれば「な～そ」の禁止の副詞「な」。
2. 「な」の後ろに「む・まし・ましか・ば・で・じ」が続くか → 続けば完了「ぬ」の未然形（直前は連用形）。
3. 文末で直前が終止形（行く・見る等） → 禁止の終助詞（命令の文脈）か詠嘆の終助詞（感動の文脈）。
4. 「な」を「なあ」に替えて通る → 詠嘆。命令・禁止の文脈なら禁止。

🎯 解き方のコツ（試験本番で3秒）

コツ① まず文末の「そ」を探す

- 「な～そ」（な笑ひそ・な行きそ）が見えたら、その「な」は禁止の副詞。間に動詞の連用形（カ変・サ変だけ未然形＝な来そ・なせそ）。

コツ② 「な」の直後を見る

- 直後が「む・まし・ば・で・じ」→完了「ぬ」の未然形（散りなむ／咲きなば／果てなで）。直前は連用形。
- 直後がなく文が終わる→禁止か詠嘆の終助詞。

コツ③ 直前の活用形で禁止と完了を分ける

- 終止形+な（行くな）＝禁止の終助詞。
- 連用形+な（行きなむの「な」）＝完了「ぬ」の未然形。
- 四段動詞は終止形（行く）と連用形（行き）が違うので見分けやすい。

よくある引っかけ

- 「行くな」（禁止）と「行きなむ」（完了+推量）は、直前が終止形か連用形か+後ろに語が続くかで区別。
- 「な来そ（なこそ）」「なせそ」はカ変・サ変で未然形が入る例外。
- 詠嘆と禁止は接続が重なる。最後は文脈（感動か命令か）で決める。

採点表

各セッションごとに自己採点し、最後に合計を記録してください。

- 基礎（Q1～Q20）： /20
- 標準（Q21～Q50）： /30
- 応用（Q51～Q80）： /30
- 入試レベル（Q81～Q100）： /20
- 合計： /100

【第1部】基礎編（Q1～Q20）

4用法を純粹に識別する。各用法5問ずつ。

Q1. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行くな。

Q2. 次の傍線部「な」を識別せよ。

見るな。

Q3. 次の傍線部「な」を識別せよ。

泣くな。

Q4. 次の傍線部「な」を識別せよ。

もの言ふな。

Q5. 次の傍線部「な」を識別せよ。

恐るな。

Q6. 次の傍線部「な」を識別せよ。

春来にけりな。

Q7. 次の傍線部「な」を識別せよ。

月のあかきな。

Q8. 次の傍線部「な」を識別せよ。

あはれなるな。

Q9. 次の傍線部「な」を識別せよ。

花散りぬな。

Q10. 次の傍線部「な」を識別せよ。

秋深くなり^なにけりな。

Q11. 次の傍線部「な」を識別せよ。

花散り^なむ。

Q12. 次の傍線部「な」を識別せよ。

咲き^なば、見む。

Q13. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行き^なまし。

Q14. 次の傍線部「な」を識別せよ。

日暮れ^なむ。

Q15. 次の傍線部「な」を識別せよ。

果て^なで。

Q16. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な笑ひそ。

Q17. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な行きそ。

Q18. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な泣きそ。

Q19. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な来そ。

Q20. 次の傍線部「な」を識別せよ。

なせそ。

【第2部】 標準編 (Q21~Q50)

さまざまな動詞・文脈で4用法を見分ける。

Q21. 次の傍線部「な」を識別せよ。

思ふなよ。

Q22. 次の傍線部「な」を識別せよ。

来**な**む。

Q23. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な散りそ、桜花。

Q24. 次の傍線部「な」を識別せよ。

うれ**しな**。

Q25. 次の傍線部「な」を識別せよ。

立ち**な**ば、知られ**な**む。

Q26. 次の傍線部「な」を識別せよ。

ゆめ忘る**な**。

Q27. 次の傍線部「な」を識別せよ。

咲き**な**むとす。

Q28. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な思ひそ。

Q29. 次の傍線部「な」を識別せよ。

暮れ果てぬな。

Q30. 次の傍線部「な」を識別せよ。

過ぎなば、悔いむ。

Q31. 次の傍線部「な」を識別せよ。

われを頼むな。

Q32. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な告げそ、人に。

Q33. 次の傍線部「な」を識別せよ。

散りなんとす。

Q34. 次の傍線部「な」を識別せよ。

めでたきな。

Q35. 次の傍線部「な」を識別せよ。

老いなば、いかにせむ。

Q36. 次の傍線部「な」を識別せよ。

なわびそ。

Q37. 次の傍線部「な」を識別せよ。

帰りなむ、いざ。

Q38. 次の傍線部「な」を識別せよ。

騒ぐな。

Q39. 次の傍線部「な」を識別せよ。

言ひなで、過ぎぬ。

Q40. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な驚かしそ。

Q41. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な惜しみそ、命を。

Q42. 次の傍線部「な」を識別せよ。

散りなむと思へど。

Q43. 次の傍線部「な」を識別せよ。

雨降るな。

Q44. 次の傍線部「な」を識別せよ。

暮れなんぞ。

Q45. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な嘆きそ。

Q46. 次の傍線部「な」を識別せよ。

心して使ふな。

Q47. 次の傍線部「な」を識別せよ。

死になば、もろともに。

Q48. 次の傍線部「な」を識別せよ。

心憂きな。

Q49. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な捨てそ、この文。

Q50. 次の傍線部「な」を識別せよ。

明けなむ。

【第3部】 応用編 (Q51～Q80)

禁止と完了の紛らわしい識別、な～そのカ変・サ変、文脈判断を中心に。

Q51. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行くな。

Q52. 次の傍線部「な」を識別せよ。

行きなむ。

Q53. 次の傍線部「な」を識別せよ。

なせそ、さること。

Q54. 次の傍線部「な」を識別せよ。

見えなむと思ふ。

Q55. 次の傍線部「な」を識別せよ。

風よ、な吹きそ。

Q56. 次の傍線部「な」を識別せよ。

過ぐな。

Q57. 次の傍線部「な」を識別せよ。

来(き) なば、告げよ。

Q58. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な驚きそ。

Q59. 次の傍線部「な」を識別せよ。

旅寝すな。

Q60. 次の傍線部「な」を識別せよ。

しなば、悔いなむ。

Q61. 次の傍線部「な」を識別せよ。

ともし火消えなむ。

Q62. 次の傍線部「な」を識別せよ。

なわすれそ。

Q63. 次の傍線部「な」を識別せよ。

ことごとしな。

Q64. 次の傍線部「な」を識別せよ。

我ひとり生き残りなむ。

Q65. 次の傍線部「な」を識別せよ。

ものな思ひそ。

Q66. 次の傍線部「な」を識別せよ。

たち別れなむず。

Q67. 次の傍線部「な」を識別せよ。

あなかま、もの言ふな。

Q68. 次の傍線部「な」を識別せよ。

暮れなで明けば。

Q69. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な急ぎそ。

Q70. 次の傍線部「な」を識別せよ。

はかなき夢を見つるな。

Q71. 次の傍線部「な」を識別せよ。

雪降りなば、道とぢなむ。

Q72. 次の傍線部「な」を識別せよ。

ゆめゆめ怠るな。

Q73. 次の傍線部「な」を識別せよ。

なものの言ひそ。

Q74. 次の傍線部「な」を識別せよ。

我も行きなまし。

Q75. 次の傍線部「な」を識別せよ。

あたら桜をな散らしそ。

Q76. 次の傍線部「な」を識別せよ。

立ち寄るな。

Q77. 次の傍線部「な」を識別せよ。

思ひ初め**な**ば、苦しからむ。

Q78. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な起こしそ、寝たる人を。

Q79. 次の傍線部「な」を識別せよ。

げにあはれなる**な**。

Q80. 次の傍線部「な」を識別せよ。

我を待ち**な**む。

【第4部】 入試レベル (Q81~Q100)

有名出典・複合的な文で4用法を確実に判別する。

Q81. 次の傍線部「な」を識別せよ。

風よ**な**散らしそ。

Q82. 次の傍線部「な」を識別せよ。

五月待つ花橋の香をかげば昔の人の袖の香ぞする、思ひ出で**な**む。

Q83. 次の傍線部「な」を識別せよ。

ほととぎすな鳴きそ鳴きそ。

Q84. 次の傍線部「な」を識別せよ。

あはれ、はかなき世な。

Q85. 次の傍線部「な」を識別せよ。

つひに忘れなむ。

Q86. 次の傍線部「な」を識別せよ。

帰りなむ、いざ里へ。

Q87. 次の傍線部「な」を識別せよ。

物な思ひそ、春は来にけり。

Q88. 次の傍線部「な」を識別せよ。

梅の花散るな。

Q89. 次の傍線部「な」を識別せよ。

暮れなむとすれど、帰らず。

Q90. 次の傍線部「な」を識別せよ。

香をな隠しそ。

Q91. 次の傍線部「な」を識別せよ。

いたづらに過ぎなば、惜しからむ。

Q92. 次の傍線部「な」を識別せよ。

言ふな、ゆめ。

Q93. 次の傍線部「な」を識別せよ。

鳴きなむ鳥の声。

Q94. 次の傍線部「な」を識別せよ。

な侮りそ、おさなき者を。

Q95. 次の傍線部「な」を識別せよ。

我が宿の花見がてらに来る人は散りなむのちぞ恋しかるべき。

Q96. 次の傍線部「な」を識別せよ。

あたら命をな捨てそ。

Q97. 次の傍線部「な」を識別せよ。

老い**な**ば、すべなし。

Q98. 次の傍線部「な」を識別せよ。

あはれと思へ、人**な**しらせそ。

Q99. 次の傍線部「な」を識別せよ。

月**な**。

採点振り返り

おつかれさまでした。間違えた問題は、次の順でチェックし直しましょう。

- 文末に「そ」があれば → 「な～そ」の禁止の副詞（間は連用形、カ変・サ変だけ未然形＝な来そ・なせそ）。
- 「な」の後ろに「む・まし・ば・で」が続けば → 完了「ぬ」の未然形（直前は連用形）。
- 文末・終止形＋なで命令の文脈 → 禁止の終助詞（～するな）。
- 「なあ」に替えて通り、感動の文脈 → 詠嘆の終助詞（～だなあ）。

特に「行くな（禁止）」と「行きなむ（完了）」は、直前が終止形か連用形か＋後ろに語が続くかで必ず見分けられます。手順を体に入れて、入試本番でも一瞬で判定しましょう。

この問題集は無料です。古文の他の識別（「ぬ」「ね」「に」など）のドリルや、文法解説とあわせてご活用ください。

誰でも古典塾 (<https://kotennosensei.com>) / 個別指導塾フィット・中本裕太